

## 庁舎建設整備事業に伴う住民説明会（昼の部）要旨

日 時：令和 5 年 3 月 17 日（金）午後 3 時 00 分～午後 4 時 13 分

場 所：奥多摩町福祉会館 1 階 集会室

参加者：29 名

- 概 要：1. 開会  
2. 町長挨拶  
3. 説明  
（1）庁舎建設基本計画策定等に伴う関連事項について  
（2）質疑  
4. 閉会

### ※主な質疑の内容

参加者	<p>長年の懸案でありました庁舎がようやく建設される運びとなり本当に喜ばしいことだと思います。奥多摩町には平坦地が非常に少ないが、駅の近くで非常に良い場所だと思います。</p> <p>建設費について、総事業費で約 30 億円、現在までの庁舎建設基金が 13 億円ということだが、庁舎の場合には補助金がないので、東京都の総合交付金を活用し、起債を少なくするなど、将来的にあまり住民に負担を掛けないように造っていただきたい。</p>
事務局	<p>総事業費は、用地費等含めて約 30 億円となっておりますが、概算事業費ということで、まだ固まった数字ではございません。庁舎建設基金は令和 3 年度末で 13 億円の現在高があり、令和 4 年度末で基金現在高を 15 億円とさせていただく予定です。</p> <p>また、いわゆる「公共」施設については、様々な補助金がありますが、庁舎は「公用」施設となり、国や東京都からの補助金という形でのメニューが無い状況です。なお、町の一般財源を補う目的で東京都から交付される市町村総合交付金制度というのがありますが、こちらは庁舎も対象となっているため、この総合交付金の活用を含め東京都に対して財政支援や更なる交付金の増額なども要望してまいりたいと考えます。</p> <p>補足いたしますと、防災拠点という位置付けがされている庁舎に対して総合交付金の対象になるため、計画の中で防災拠点の位置付けをし、総合交付金を活用することにより、いわゆる借入金の部分をなるべく抑えるような形で住民皆様の将来的な負担を減らしてまいりたいと考えます。</p>
参加者	<p>車道ですが、黄色い通路（計画案の位置図）だけしか行けなくなるのですか。今の小学校に行く道路だと結構道幅が狭く、通学路にもなっているので、車は出来れば黄色い通路（奥多摩工業側）を日常的に使うようにしてもらいたいと思います。</p>
事務局	<p>新庁舎へのアクセスについては、建設委員会からの答申の中に、安全性の確保という文言があります。それに基づいて、奥多摩工業や J R と協議・交渉を進めております。</p> <p>車道については、基本的には現在の役場の前を通過して奥多摩工業側から日常的に使わせていただきたいということで、協議を進めているところです。もう一方で、J R とは奥多摩駅構内から建設候補地側へ抜ける歩行者専用通路について協議を進めています。車と人を分けることで、安全性の確保をしてまいりたいと考えております。</p> <p>また、福祉会館横の坂道の部分も、庁舎建設のタイミングに併せて可能な範囲で改善を図らせていただきと思います。</p>

参加者	<p>新庁舎が計画の中で防災拠点と位置付けられた意味は納得できたが、避難所として指定されている氷川小学校や福祉会館とどのような連携をしていくのか検討していただきたい。</p> <p>また、総事業費30億円というのは、これから人口減少が進んでいくこの奥多摩町にとって非常に大きな負担になるものだと思いますので、なるべくコンパクトな形にして、お金が掛からないようにしてほしいというのが私達住民側の気持ちです。今（計画の中で）予定されている延べ床面積ですとか、そのようなものをコンパクトにしてもう少し事業費を減らすなど、そのような方向というのはこれから可能性としてあるのでしょうか。それとも、もうこれは決定事項として進んでいくのでしょうか。</p>
事務局	<p>元々、現庁舎も防災拠点としての機能を持っています。震災などがあると、関係機関が役場に集まって、そこが司令塔的な立ち位置になるということになります。奥多摩町の場合ですと、平成26年の時に大雪の災害がありました。あの時は、自衛隊に出動を要請し、役場の中で警察、消防、自衛隊、町の防災担当が集まって対策を練って、そこから色々な指示を出しておりました。</p> <p>防災拠点という意味ですが、役場に避難していただくということではなく、役場から必要な人材、機材、あるいは物資などを困っているところに手を差し伸べるということになるかと思います。氷川小や福祉会館は避難所としての位置付けとなります。</p> <p>また、建設委員会の中でも、庁舎をコンパクトにというお話をいただいております。このような機能があったらいいねという話がある一方で、それを全部実現するにはすごく面積が広がってしまい、当然お金も掛かるよねという話は出ておりました。我々としての課題も、皆様からのニーズもあります。それと掛かる費用をどのようにするかということは今後の課題となります。計画（案）の中に、敷地面積や延べ床面積が記載してありますが、これらも現時点では国の基準に基づいて算出しているところでもありますので、現実的には今後の基本設計の段階で、実際はどうかということも含めて、改めて数字は算出し直すということと考えております。</p> <p>建設委員会の中では、建物の中に全部の機能を押し込むということは現実的に厳しいのではないかという話もありましたので、ひとつの考え方として、屋外の使い方も検討し、なるべく将来的な財政負担を掛けないような形でコンパクトに、でも、今よりは使い勝手が良く、皆さんのサービス向上に繋がるような形で、進めてまいりたいと思います。</p>
参加者	<p>この計画の中に、地元の木材を積極的に活用していくことと、そのことを通じて経済への波及効果ということが謳われている点については、非常に心強く感じていますが、ウッドショックに伴って林業が大きく見直され、林業に参加する若い人達がどんどん増えているというような情報が発信されております。この庁舎建設で、位置付けられた地元奥多摩産の木材を多に活用することによって、奥多摩における林業、それと関連する産業を振興させていく、そのような契機になるような位置付けをしていただけたらと思っています。</p>
事務局	<p>林業の担い手の方が頑張っても、もう一方の市場の開拓であるとか、そういったところの現実的な問題もある状況ですが、令和3年に町と包括連携協定を締結した野村不動産ホールディングスという会社が、東京都の中で林業でのサプライチェーンを作りたいというような計画をしております。今後、日常的に林業振興に繋がるようなことをしていきたいというようなお話もいただいております。今回の庁舎建設にあたっては、そういったことも絡めながら、また、この庁舎の中でどこまで木材を使えるかは、今は何とも言えない状況ですが、計画の想定としては少なくとも地域産材は使っていきたいというように考えております。</p>

参加者	<p>今回の庁舎建設にあたりましては、奥多摩産材を豊富に活用していただき、奥多摩駅の木造駅舎と調和したようなものを、また、奥多摩らしさというものを考えていただいて、設計に反映してもらえたらいいなと思います。</p> <p>それから、まだ具体的には決まっていないと思いますが、いつ何が起るかわからないような状況ですので、地下2階にはシェルターでも造ることを検討いただけないかと思います。</p> <p>また、町民の皆さんも参加して造るという基本方針がありますから、こうした点もお考えになって、町も議会も職員の方も住民の方もそういった点を意識してほしいと思います。</p>
事務局	<p>奥多摩町ということで、木材の部分は皆さんお気になさる部分かと思いますので、今後検討していきたいと思います。</p> <p>庁舎の地下2階というお話がありましたが、概要版の中に載っている地下2階の部分は、今の庁舎の部分のことで、新庁舎の方はまだ何階にするのか、地下はどうするのかということは、まだ検討中でございますが、ご意見として承りたいと思います。</p> <p>また、庁舎建設委員会では、松本委員長（多摩大学の先生）に非常にご尽力をいただきまして、色々な考え方を皆様に浸透させていただいたということで感謝をしております。庁舎建設事業については、皆様の関心度が高いということで、肝に銘じて進めてまいりたいと思います。</p>